

拡張現実（Augmented Reality） とオペレーティングシステムの将来



日時 6月15日 13:30~

場所 クリコアラ（クリエイションコア 1階）

言語 英語

講演者

David A. Smith

OS.vision / ARCOS CEO

Huawei向け AR/VRデバイスデザイナーコンサルタント



拡張現実（Augmented Reality，AR）は，コミュニケーションやコラボレーション，創造といった活動のために作られたメディアであり，様々な媒体に活用できる可能性がある。しかし，開発者やメーカーにとっては，「ARのMS-DOS」が存在していないことが最大の課題となっている。共通の運用環境がなければARの大規模な採用は起こり得ず，また，現状個別に存在しているツール群ではAR分野の豊富な可能性を最大化するには不十分である。

本講演では，クロスプラットフォーム上でのAR開発や，AR機能を持つハードウェアの大規模展開を可能にするAR開発・体験プラットフォーム

ARCOS (Augmented Reality Collaborative Operating System)を紹介する。ARCOSは，デバイスに依らず，リアルタイムで完全に協調的な環境を提供し，ユーザと開発者が簡単にマイクロワールドを作成したり，その中に賢い協調的なオブジェクトを配置したり，ツールやマイクロアプリケーション，コンテンツ上での協調作業に他のユーザを招待したりすることができる。ARCOSは，David Smith，Andreas Raab，Alan Kayによって開発されたOpen Croquetプラットフォームの後継である。

